

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果(桜ヶ丘小学校)

## 平均正答率

平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数・数学	理科
桜ヶ丘小	同等	下回った	同等
埼玉県	67	64	65
全国	65.6	63.2	63.3

## 児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	桜ヶ丘小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	95.7	94.8	94.4
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	88.8	83.0	81.5
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	95.8	91.2	90.4
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	15.5	8.0	13.8
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	84.5	74.1	71.1
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	85.9	81.6	78.2
	昨年度までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	83.1	81.7	77.3
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	87.3	61.7	59.4
教科への関心	国語の勉強は好きだ	71.8	60.7	59.2
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	92.9	93.1	91.8
	算数の勉強は好きだ	50.7	62.4	64.5
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	91.5	92.0	93.3
	理科の勉強は好きだ	77.5	81.1	79.7
	理科の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思う	85.9	78.7	77.2
ICTの活用	昨年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	74.7	61.6	58.2
	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	70.4	46.6	43.9
	学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	25.3	23.2	24.5
	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	28.1	22.9	21.7
	平日、1日あたり1時間以上スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っている	29.5	22.2	21.6
その他	自分には、よいところがあると思う	80.3	82.0	79.3
	将来の夢や目標をもっている	88.8	81.3	79.8
	人の役に立つ人間になりたいと思う	97.2	95.5	95.1
	今住んでいる地域の行事に参加している	56.3	50.4	52.7

## 【質問紙分析】

- ・「国語の勉強は好きだ」の割合が全国と比べて高いのは、昨年度の学校研究を国語で行い、児童にとって分かりやすい授業づくりに取り組んだことが要因の一つであると考えられる。
- ・「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した」の割合が全国と比べて高いのは、管理職指導のもと情報主任が教職員研修等で積極的に活用の呼びかけを行い、それを実行した結果であると考えられる。
- ・「算数の勉強は好きだ」の割合が全国と比べて低いのは、算数科の学習における積み重ねが少なく、苦手と感じている児童が多いことが要因の一つであると考えられる。そのため、朝学習や授業の導入などで下学年の内容を取り上げ、復習をしながら算数科の学習を進めていく必要があると考えられる。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

### 【国語】

#### ○1二

（理由）出題の趣旨は「言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える。」であるが、学校研究等の授業において、文章の内容を丁寧に読み取ることに力を入れた結果であると考えられる。

#### ○3三ア～ウ

（理由）出題の趣旨は「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。」であるが、特に第5学年において、小テストを活用した漢字の習得に力を入れ、丁寧に指導を続けた結果であると考えられる。

#### ●1四

（理由）出題の趣旨は「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。」であるが、問題にある条件を捉えきれていなかったり、文を書くことの習熟度が低かったりすることが原因であると考えられる。

#### ●3一

（理由）出題の趣旨は「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。」であるが、要旨を捉えたり、意見文の特徴的な書き方を理解できていなかったりしたことが原因であると考えられる。

### 【算数】

#### ○1（1）

（理由）出題の趣旨は「被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる。」であるが、特に第5学年において、基礎的な四則計算を反復練習して習熟に努めた結果であると考えられる。

#### ○2（1）

（理由）出題の趣旨は「百分率で表された割合を分数で表すことができる。」であるが、授業の中で扱うときに、位取りや位の名称を丁寧に説明したり、約分の習熟度を上げ

るために繰り返し指導したりした結果であると考えられる。

● 2 (3)

(理由) 出題の趣旨は「示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。」であるが、割合の意味を理解しきれていなかったり、日常の場面としてイメージできていなかったりすることが原因であると考えられる。

● 4 (3)

(理由) 出題の趣旨は「図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している。」であるが、ひし形の性質や作図のための方法についての理解が浅いことが原因であると考えられる。

【理科】

○ 3 (1)

(理由) 出題の趣旨は「日光は直進することを理解している。」であるが、日常生活を意識しながら授業で取り扱うことができた結果であると考えられる。ただ、実験等とおしてもう少し身近に捉えさせることにより、さらに活用力を伸ばしていきたい。

○ 3 (2)

(理由) 出題の趣旨は「問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している。」であるが、授業の中で実験と結果、考察などを分かりやすく区別して取り扱っている結果であると考えられる。

● 2 (2)

(理由) 出題の趣旨は「メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている。」であるが、使用する実験器具について、名称を確認しながら取り扱っているものの、その頻度が低いことが原因であると考えられる。

● 4 (4)

(理由) 出題の趣旨は「水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している。」であるが、空気の成分で解答したり、全く関係ない答えを書いていたことから、質問の意味が理解できていない児童が多かったためであると考えられる。

課題への取組・改善策

- ・ 全ての教科等の授業の中で、本時のまとめや振り返りを考えたり書いたりする時間を確保し、その時間で学んだことを言葉で表現できるようにする。
- ・ 朝の学習タイムでコバトプリント等を活用し、学年全体で短所を克服したり、長所を伸ばしたりして学力向上に努める。
- ・ 授業の中で、各教科の用語を意識して使うことにより、さらなる知識の定着を図っていく。
- ・ 保健だよりなどの通知により、家庭への啓発を継続し、今後も生活習慣や学習習慣、自己肯定感等の改善を図っていく。